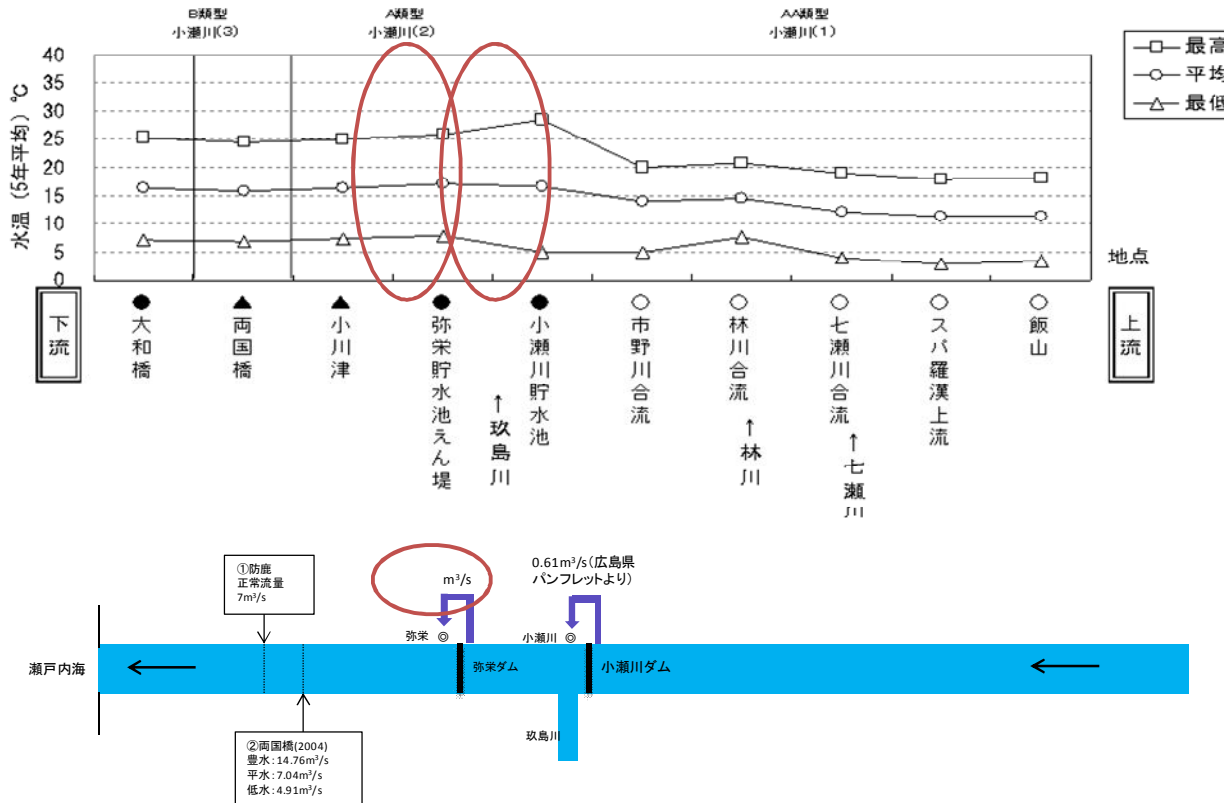


7) 小瀬川

対象水域	小瀬川(下流→上流)	
ダム・堰名	弥栄	小瀬川
取水・発電方法	ダム式	ダム式
発電所名	弥栄	小瀬川
発電使用水量(常時)(m ³ /s)	5m ³ /s程度	3.0(最大)
利用水深(m)	水深3mで取水	6m(夏期)~10m(冬期)程度
主要取水設備型式	取水塔	取水門
導水路~放水路延長(km)	0.2082	0.059
所在地	山口県岩国市	山口県岩国市
発電目的以外用途	-	洪水調整・工場用水

出典:財団法人日本ダム協会 ダム年鑑2008
 財団法人日本ダム協会 ダム便覧
 電力技術土木協会 水力発電所データベース
 国土交通省中国地方整備局弥栄ダム管理所
 広島県小瀬川ダム管理事務所

※ダム式:ダムで水を堰き止め、主に上層部の水を取水・落下させて発電する。
 ダム水路式:ダムで水を堰き止め、主に上層・浅層の水を水路等で導水し、落下させて発電する。
 水路式:浅い河川部にて低い堰により水を堰き止め、水を導水し、落下させて発電する。



出典:公共用水域測定結果

※最高・平均・最低水温は、平成14~18年度の公共用水域水質測定結果より、各年度の月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、それぞれ5カ年平均した値である。

- ◎: 発電所(ダム式)
- : 発電所(ダム水路式)
- : 発電所(水路式)
- : 導水路・バイパス経路

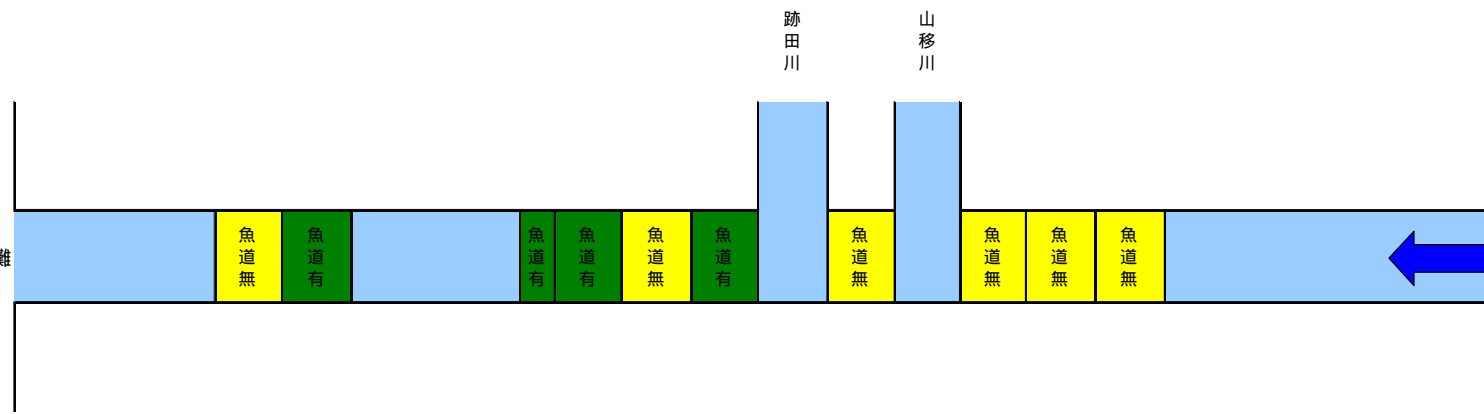
出典
 ダム発電常時使用水量(m³/s):ダム年鑑2008
 ①流量:小瀬川水系河川整備基本方針データ
 (流水の正常な機能を維持するための流量)
 ②流量:流量年表(2004年)

図7.3 発電ダム等の水量及び水温の状況について(小瀬川)

8. 山国川

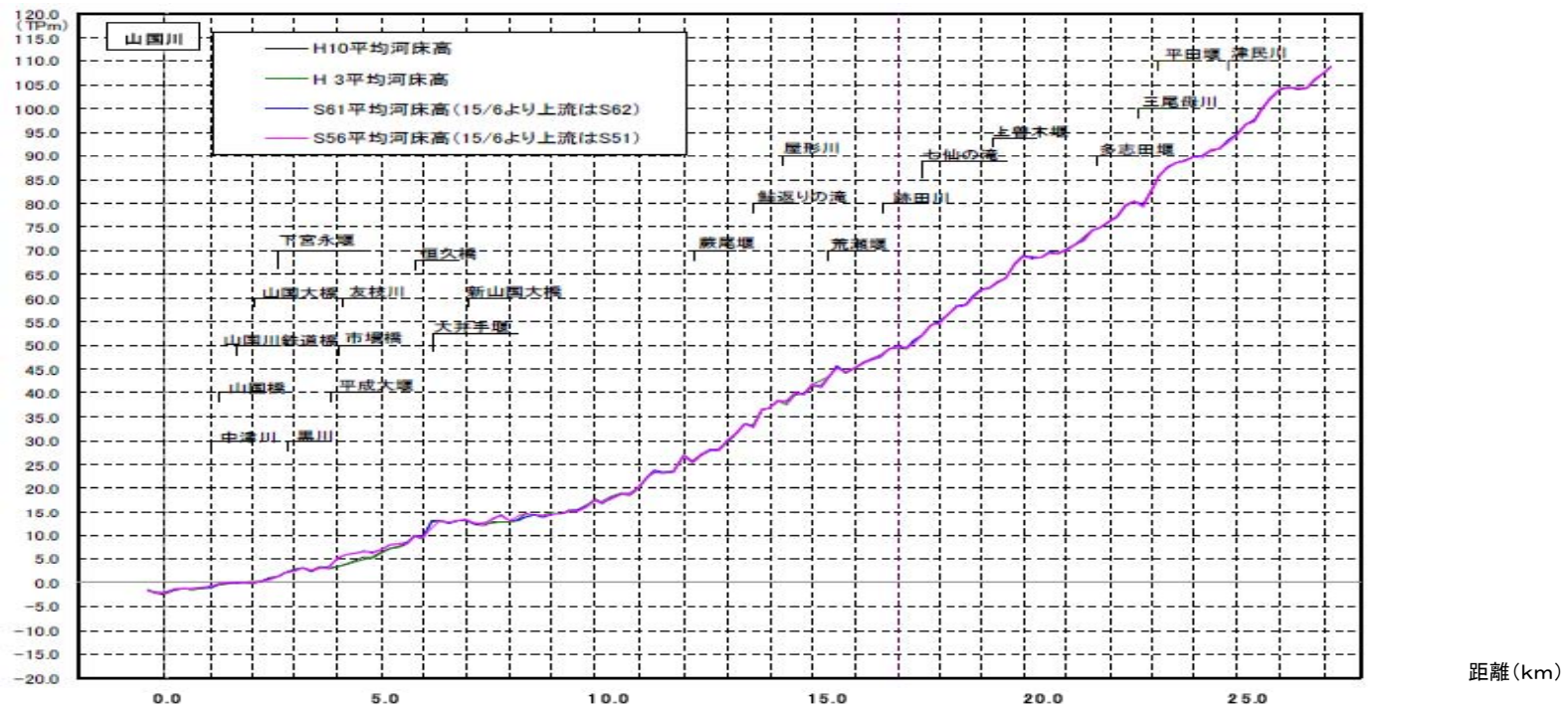
河川横断工作物・
魚道・主な取水・
主な流入河川

周防灘



水系名	山国川(2)																				山国川(1)		
既存生活環境項目の類型指定	A																				AA		
水質調査地点名 流量観測地点名	山国川河口	小祝	山国橋	下宮永堰	平成大堰	下宮永	下唐原	恒久橋上流堰	大井手堰	蕨尾井堰	荒瀬堰	洞門	上曾木堰	上曾木	多志田堰	平田堰	口ノ林堰	柿坂	江淵橋	大曲橋	新谷橋	鋸ノ木橋	
距離標 (kp)	0	0.3	1.3	2.6	4.0		5.8	5.9	6.3	11.2	15.5	15.6	19.4		21.7	23.2	25.6	27.2					
環境基準点 補助点 流量観測地点 類型区分点																							
魚道				x						x			x		x	x	x						
河川横断工作物				堰	堰			堰	堰	堰	堰		堰		堰	堰	堰						
平均水温	← 平均水温 15 程度より高温																				平均水温 15 程度 (14~16)	平均水温 15 程度より低温	
水生生物生息状況 既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) 専門家ヒアリング結果 漁協ヒアリング結果	生物A																						
	生物B																						
保護水面等重要水域																							
河床材料	砂・泥		砂・礫が主体										砂礫・石・岩										
低水流量 (m³/s) 流量観測地点における情報を表示 出典：流量年表(国土交通省河川局編, H14)	流量						2.45																
	10																						
	5																						
主な取水																							
下水処理水の流入量 (m³/s) (平成16年度実績)																							
県境	福岡県・大分県										大分県												
勾配	1/5129			1/315				1/247			1/189			1/142									
水生生物保全類型指定(案)	← 生物B類型										→ 生物A類型												

図 8 . 1 調査地点及び水生生物の生息状況

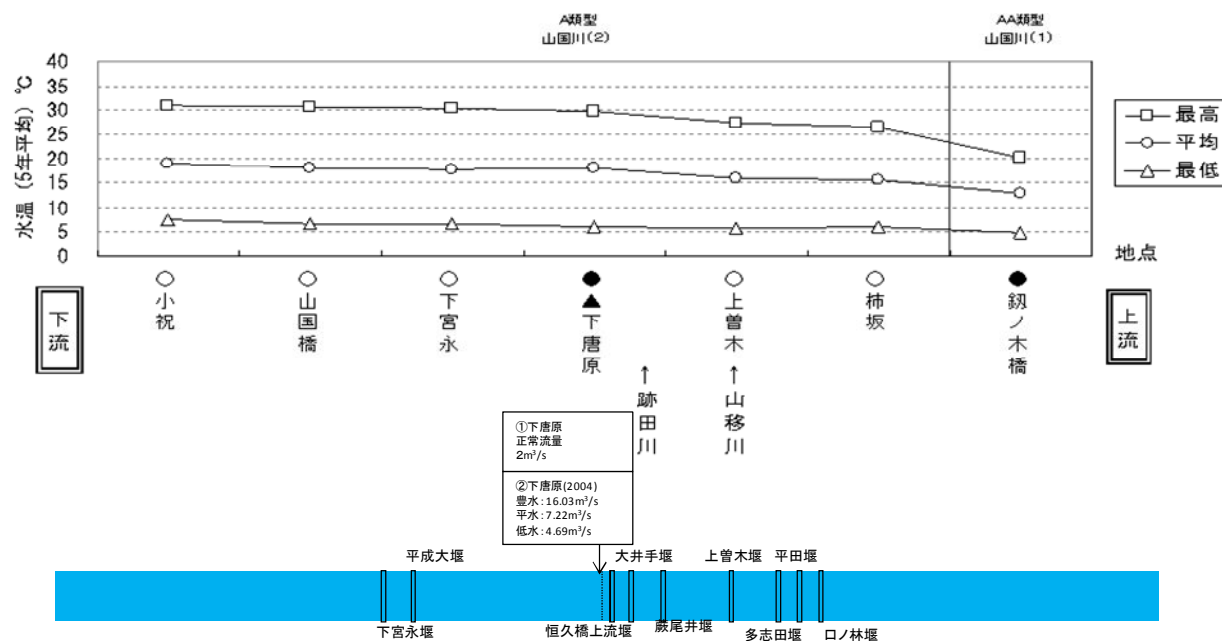


水系名	山国川(2)			山国川(1)
既存生活環境項目の類型指定	A			AA
平均水温	平均水温15°C程度より高温			平均水温15°C (14~16°C)
河床材料	砂・泥	砂・礫が主体	砂礫・石・岩が主体	
勾配	1/1,000~1/550		1/200~1/150	



図8.2 勾配(山国川)

※発電ダムなし



出典: 公共用水域測定結果

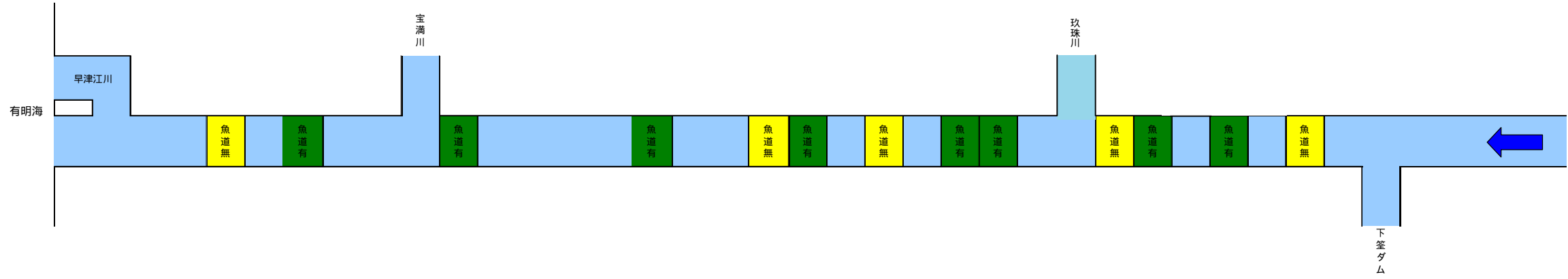
※最高・平均・最低水温は、平成14～18年度の公共用水域水質測定結果より、各年度の月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、それぞれ5年平均した値である。

出典

- ①流量: 山国川水系河川整備基本方針データ
(流水の正常な機能を維持するための流量)
- ②流量: 流量年表(2004年)

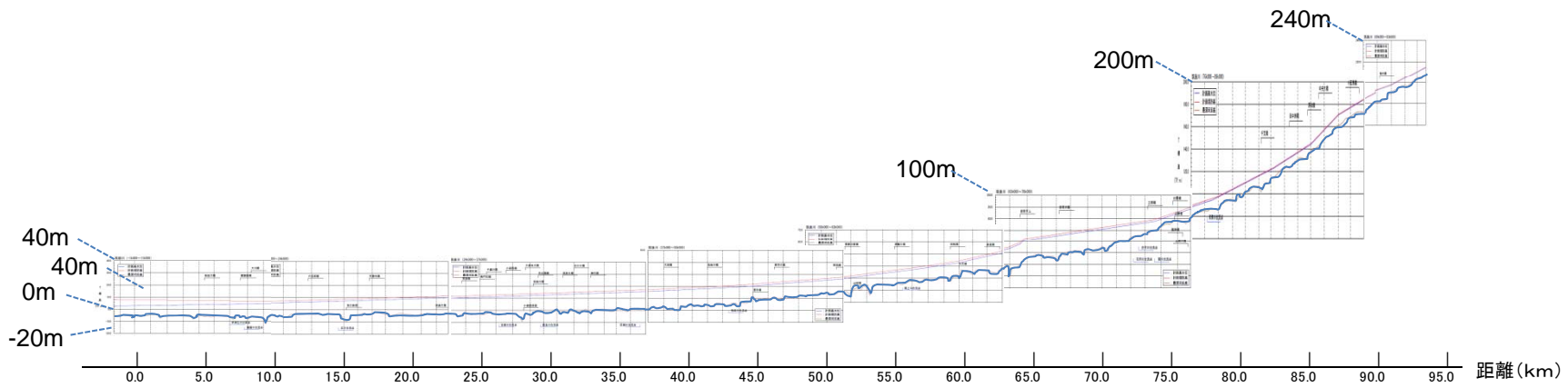
図8.3 発電ダム等の水量及び水温の状況について(山国川)

9. 筑後川
河川横断工作物・
 魚道・主な取水・
 主な流入河川



水系名	筑後川(3)											筑後川(2)											松原ダム				筑後川(1)																
	B											A											A・				AA																
類型																																											
既存生活環境項目の類型指定																																											
水質調査地点名 流量観測地点名	筑後川河口	早津江川分岐点	若津	六五郎橋	坂口床固め	天建寺橋	筑後大堰	豆津橋	瀬ノ下	宝満川合流点	小森野床固	久留米大橋	神代橋	大城橋	片ノ瀬	恵利堰	朝羽大橋	恵蘇ノ宿	山田堰	大石堰	荒瀬	夜明ダム	川下	三隈堰	島内堰	三隈大橋	小測	小島井堰	手先用水堰	小平・清和橋	大山川ダム	柚木	松原ダム堰堤	松原ダム(M11)	松原ダム(M13)	松原ダム	松原ダム上流端	杖立	築瀬	小国町本・上田坂			
距離標(kp)	0	6.0	6.9	14.7	17.2	18.8	23.0	24.6	25.4	27.0	28.6	28.8	33.3	38.0	41.0	43.8	49.4	52.5	53.0	60.0	62.0	64.5	70.0	75.0	75.1	75.6	77.3	78.9		84.4		90.1	93.9										
環境基準点 補助点 流量観測地点 類型区分点																																											
魚道					x																																						
河川横断工作物					堰		堰				堰								堰	堰		ダム		堰	堰			堰	堰			ダム		ダム									
平均水温	← 平均水温15 程度より高温																																	→ 平均水温15 程度 (14~16)									
水生生物生息状況 :既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) :専門家ヒアリング結果 :漁協ヒアリング結果	生物A		[Yellow]																																								
	生物B		[Pink]																																								
保護水面等重要水域																																											
河床材料	← 泥・砂が主体											砂・礫が主体											→ 岩・石が主体																				
低水流量(m ³ /s) 流量観測地点における情報を表示 出典:流量年表(国土交通省河川局編, H14)	流量									41.82								28.17					32.03				32.29				17.83			2.82									
	50									[Bar]								[Bar]					[Bar]				[Bar]				[Bar]			[Bar]									
主な取水																																											
下水処理水の流入量(m ³ /s) (平成16年度実績)						0.4					0.64								0.03				0.4				0.01																
県境	佐賀県・福岡県			佐賀県	佐賀県・福岡県			福岡県	佐賀県 福岡県	福岡県											福岡県 大分県	大分県											大分県・熊本県	熊本県									
勾配	Level		1/16500	1/3950		1/2400				1/1000			1/780		1/650		1/590	1/830	1/260	1/190		1/210		1/130		1/140																	
水生生物保全類型指定(案)	-----											生物B類型															湖沼生物B類型						生物A類型										

図9.1 調査地点及び水生生物の生息状況



水系名	筑後川(3)	筑後川(2)									松原ダム	筑後川(1)	
既存生活環境 項目の類型指定	B	A									A・Ⅲ	AA	
平均水温	平均水温15℃程度より高温									平均水温15℃程度(14~16℃)			
河床材料	砂・泥		砂・礫が主体						岩・石が主体				
勾配	1/16,500		1/2,400	1/1,000	1/780	1/650		1/190	1/210				
		↑						↑	↑	↑	↑	↑	
		1/3,950						1/590	1/830	1/260		1/130	1/140
										↑ 勾配急変点			

図9.2 勾配(筑後川)

9) 筑後川

対象水域	筑後川(下流→上流)			
ダム・堰名	夜明	大山川堰	松原	下釜
取水・発電方法	ダム水路式	ダム水路式	ダム式	ダム式
発電所名	夜明	柳又	松原	下釜
発電使用水量(常時)(m ³ /s)	28.00	68.0(最大)	19.00	7.00
利用水深(m)	1.0		選択取水	
主要取水設備型式	取水堰	取水堰	取水堰	取水堰
導水路～放水路延長(km)	0.9957	14.083	2.5368	0.0776
所在地	大分県日田市	大分県日田市	大分県日田市	大分県日田市
発電目的以外用途	-	-	-	-

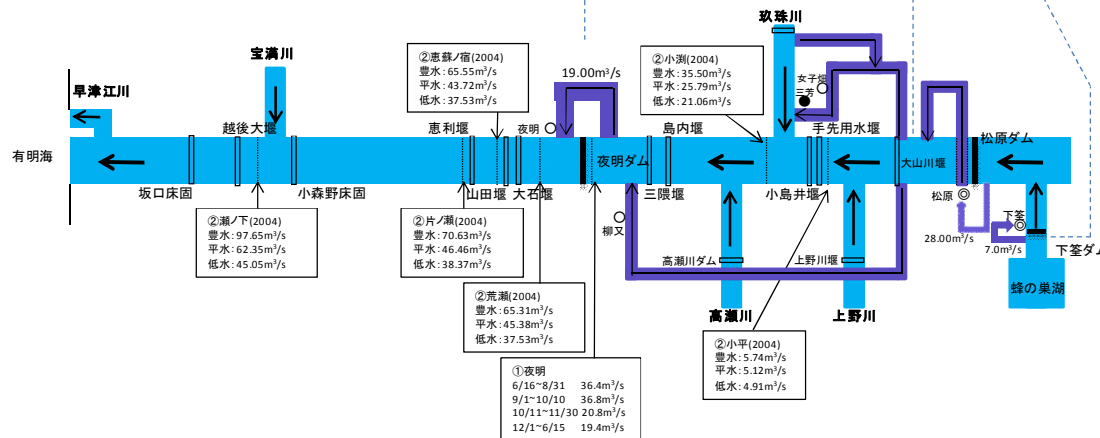
出典:財団法人日本ダム協会 ダム年鑑2008
財団法人日本ダム協会 ダム便覧
電力技術土木協会 水力発電所データベース

※ダム式:ダムで水を堰き止め、主に上層部の水を取水・落下させて発電する。
ダム水路式:ダムで水を堰き止め、主に上層・浅層の水を水路等で導水し、落下させて発電する。
水路式:浅い河川部にて低い堰により水を堰き止め、水を導水し、落下させて発電する。



出典:公共用水域測定結果

※最高・平均・最低水温は、平成14～18年度の公共用水域水質測定結果より、各年度の月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、それぞれ5カ年平均した値である。



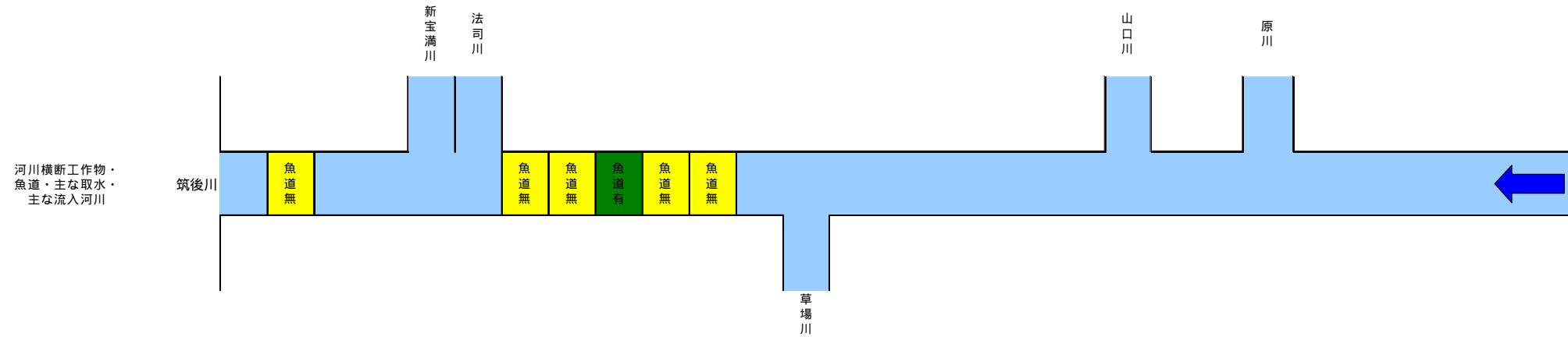
- ◎: 発電所(ダム式)
- : 発電所(ダム水路式)
- : 発電所(水路式)
- : 導水路・バイパス経路

出典
ダム発電常時使用水量(m³/s):ダム年鑑2008
①流量:筑後川水系河川整備基本方針データ
(流水の正常な機能を維持するための流量
…動植物の生息地又は生育地の状況及び漁業)

②流量:流量年表(2004年)

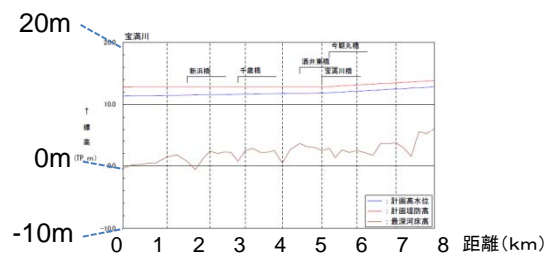
図9.3 発電ダム等の水量及び水温の状況について(筑後川)

10. 宝満川



水系名	宝満川(2)																		宝満川(1)										
既存生活環境項目の種類	B																		A										
水質調査地点名 流量観測地点名	筑後川合流点	下野堰	下野	新浜橋	酒井東橋	今朝丸橋	上西井堰	西福重堰	端間堰	福吉堰	大板井堰	鬼川原橋	西小田橋	楠橋	下見	土島橋上流	諸田	常松	宝満橋下流	宝満橋	疫神橋	(阿志岐大堰) 阿志岐	原川合流点	岩本橋	吉木	上吉木	吉木橋	大石	袖須原・本道寺
距離標 (kp)	0	0.2	0.5	1.5	4.5	5.1			8.0																				
環境基準点 補助点 流量観測地点 類型区分点																													
魚道		×					×	×		×	×																		
河川横断工作物		堰					堰	堰	堰	堰	堰																		
平均水温	← 平均水温 15 程度より高温 →																												
水生生物生息状況 : 既存調査結果(河川水辺の国勢調査等) : 専門家レビュー結果 : 漁協レビュー結果	生物A																												
	生物B																												
保護水面等重要水域																													
河床材料	← 泥・砂が主体 → 砂・礫																												
低水流量 (m³/s) 流量観測地点における情報を表示 出典: 流量年表(国土交通省河川局編, H14)	流量																												
	10																												
	5																												
	0																												
主な取水																													
下水処理水の流入量 (m³/s) (平成16年度実績)													0.3																
県境	佐賀県・福岡県				佐賀県		福岡県																						
勾配				Level	1/6000	1/3000																							
水生生物保全類型指定(案)	← 生物B類型 →																												

図 10 . 1 調査地点及び水生生物の生息状況



水系名	宝満川(2)			宝満川(1)
既存生活環境項目の類型指定	B			A
平均水温	平均水温15°C程度より高温			
河床材料	砂・泥が主体			砂・礫
勾配		1/6,000	1/3,000	

勾配急変点なし

図10.2 勾配(宝満川)

※発電ダム、流量データなし

出典：公共用水域測定結果

※最高・平均・最低水温は、平成14～18年度の公共用水域水質測定結果より、各年度の月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、それぞれ5ヵ年平均した値である。

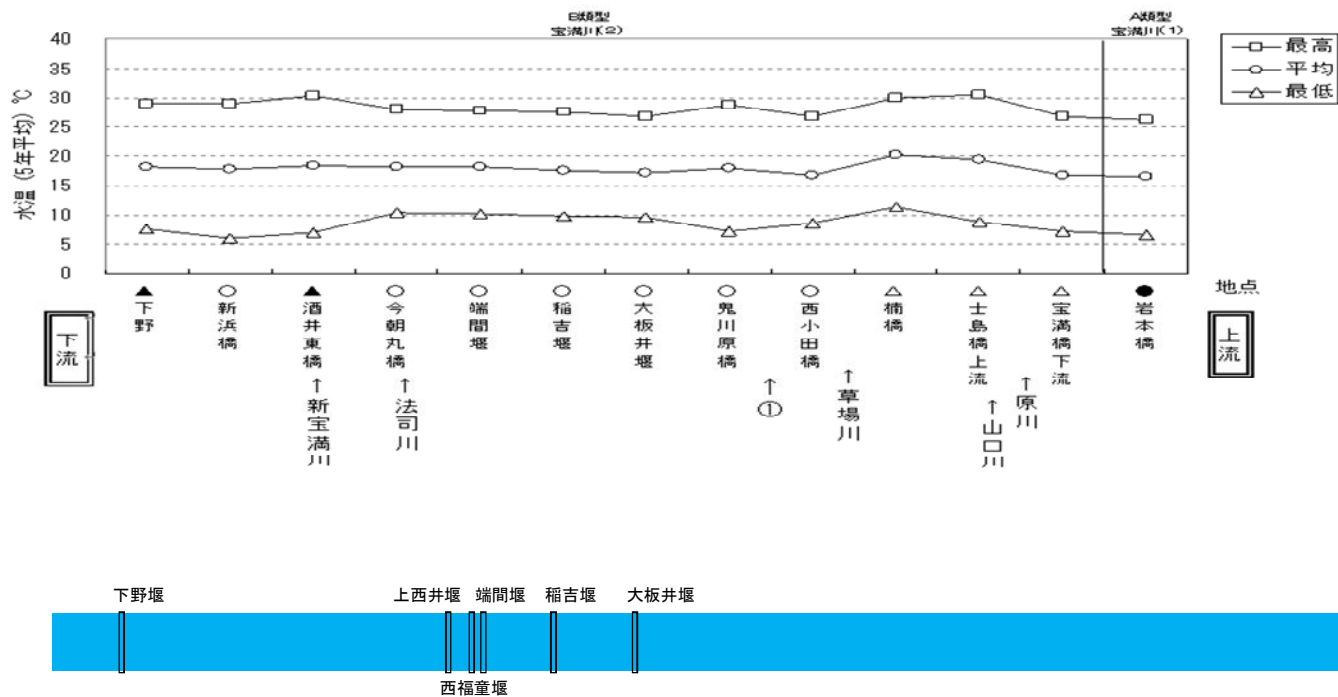


図10.3 発電ダム等の水量及び水温の状況について(宝満川)